本剤を吸入投与で取り扱う方へ

ジトリペンタートカル静注1000mg及び アエントリペンタート静注1055mgの 吸入投与方法について

監修：国立研究開発法人　量子科学技術研究開発機構　量子生命・医学部門　放射線医学研究所

○ はじめに

本剤の有効性及び安全性は静脈内投与において確認されています。しかし、海外において、体内汚染が吸入のみによって起こった場合、緊急的にネブライザー（吸入器）を用いて本剤を吸入投与できることが報告されています。

本剤を吸入投与した患者には、吸入１回の投与量が静脈内投与の１日投与量（上限）になるため、同日に静脈内投与はできません。静脈内投与ができる状況にあれば静脈内投与を行ってください。

喘息の持病のある患者は、喘息の悪化を伴う可能性がありますので、慎重に投与してください。ジトリペンタートカル静注1000mgは妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、投与しないことが望ましいです。

○ 吸入器の種類

ネブライザーの種類は大きく分けて、圧縮空気で霧を作る「ジェット式」と、超音波で霧を発生させる「超音波式」があります。

複数種のネブライザーが利用可能であれば、より効果的に肺の奥まで届くように、噴霧粒子径の小さな機種を選択してください。一般的に「超音波式」は比較的微細な粒子（5μm以下）を発生させ、肺の奥まで到達させることができます。

○ 吸入投与液の調製方法

・ネブライザーの取り扱いは、取扱説明書に従ってご使用ください。

・本剤を同容量の注射用水又は生理食塩液で薄めて使用して下さい（1:1希釈）。

・本剤5mL全量を使用するとき、調製後の液量は10mLとなります。ネブライザー付属の薬液カップの容量を超える場合は、2, 3回に分けてください。また、薬液カップで希釈する場合は、薬液カップの容量を確認してください。

・希釈液を薬液カップに入れ、ネブライザーにセットしてください。

【裏面に続く】

○ 吸入方法について

ネブライザーの吸入用アタッチメントとしては、マウスピースと吸入マスクのどちらも使用できます。口からの吸入が正しく行えない場合は、効果的な除染が期待できません。確実に吸入できるように吸入用アタッチメントを選択し、患者に吸入方法をご指導ください。

(1) **マウスピースを用いる場合**：マウスピースは、軽く噛むか、口を軽く開けるようにしてくわえます**(図1)**。上下の歯の隙間から周囲の空気を一緒に吸い込むようにします（マウスピースを完全にくわえてしまうと気流が発生しにくくなるため）。
吸入マスクを用いる場合：吸入マスクは、鼻と口を覆うようにします**(図2)**。

(2) 腹式呼吸でまず完全に呼気を吐き出し、続けて、薬液の噴霧ミストをゆっくり口で深く吸い込みます（気道全体および肺の奥まで届くようにするため）。

(3) 息を吸い込んだ状態で10秒程度息を止めます（薬液が気道に付着するようにするため）。その後ゆっくり鼻から吐き出します。

(4) 薬液がなくなるまで(2)と(3)を繰り返します。
（全量の吸入を終えるまで再セットして繰り返します）

(5) 吸入時には、痰を飲み込まないように、吐き出させるようにしてください。

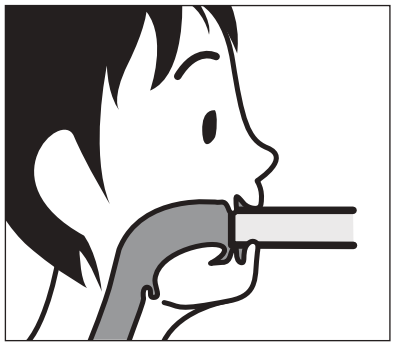

図1

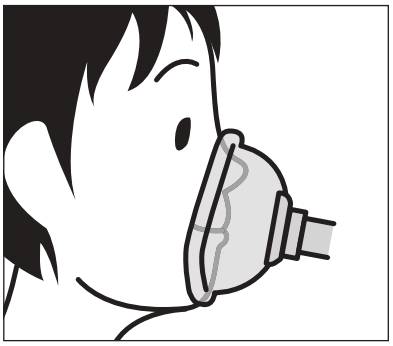

図2

○ 取り扱い上の注意

・本剤が目に入った場合は、直ちに水で洗い、適切な処置を行ってください。

※ 投与された場合は、「ご使用連絡シート」にご記入の上、FAX を送信してください。

日本メジフィジックス株式会社
メディカルアフェアーズ部
メディカルインフォメーショングループ

〒136-0075　東京都江東区新砂3丁目4番10号
0120-07-6941（フリーダイヤル）

2022年5月